

アライドテレシスホールディングス株式会社
代表取締役会長 大嶋 章禎

創立25周年、さらなる飛躍に向けて

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、2011年の東日本大震災に被災された皆様におかれましては、改めて心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念しております。

昨年は世界的に自然災害が多発した年でありました。特にわが国は未曾有の大災害に見舞われ、原発問題も絡んで人的・経済的に甚大な被害を受けました。また、海外でも米国国債格下げ、欧州債務問題の深刻化など、日米欧さらには新興国においても厳しい一年でした。

日本企業の中には、昨今の新興国需要の取り込みを目的とし、また、円高リスクの回避に向け、海外進出を検討する企業が増加しています。このようなグローバル展開をする企業は、現地でどういった通信網を構築すべきかを模索しています。現在、私どもアライドテレシスグループは世界23カ国に38社を有し事業を展開していますが、これまで現地で築き上げてきたノウハウを活かし、海外へ進出する日本企業に、国内および海外グループ会社による双方向からのサービスやサポートを強化するための体制を整えました。

私どもアライドテレシスはネットワーク黎明期の1987年にLAN機器メーカーとして誕生し、今年3月に創立25周年を迎えます。ITの進化とともに社会環境は急速な変化を遂げ、同時に社会の求めるネットワーク環境も大きく進化してまいりました。この間、私どもは常に時代に先駆けて最新テクノロジーやソリューションをいち早く研究・開発し、提供することで、世界中の情報化社会の基盤づくりに大きく貢献してきたと自負しています。

豊かな生活を支える社会インフラとして、ネットワークはますます重要性が増しています。今、IT分野はクラウド化が急速に進んでいますが、その利用の増加に伴いインフラであるネットワークは極めて高い信頼性、安全性が重要視されるようになります。私どものネットワークソリューションは、クラウド・コンピューティングの中核を担うデータセンターにも導入されるなど、2004年から取り組んできた「IPトリプルプレイ」の技術がまさにこのクラウド時代の到来とともに発揮されています。

利用シーンに合わせて、お客様のビジネスにとって機能面、運用面、そしてコスト面において最適なネットワークを提供することが私どものソリューションです。これまで積み上げてきたソリューションビジネスへの取り組みを一層加速し、「社会品質を創る。アライドテレシス。」をミッションとして、人々が安心して、いつでも、どこでも、快適に情報を利用できる豊かな社会の創出に取り組んでまいります。また、株主の皆様やお客様から高い信頼と評価を得られるよう、企業価値の最大化を図るべく努めてまいります。

本年もどうぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上